

2019 年度第 1 回 知床世界自然遺産地域科学委員会
適正利用・エコツーリズム検討会議
【議事要点版】

日時：令和元年 9 月 30 日（月） 14：00～16：30

場所：斜里町産業会館 2 階会議室

1. 知床エコツーリズム戦略に基づく提案の進捗状況

- 知床羅臼フットパスクラブからの申し出により、2018 年の第 1 回検討会議で提案された「知床観音岩 COAST WAY フットパスコース」の取り下げを承認。

2. 実施部会からの報告

(1) 赤岩地区昆布ツアー部会

- 赤岩地区昆布ツアーは残る 2 年も継続することを実施者が明言した。
- 2018 年度第 1 回検討会議で指摘されたツアー名称の不適格性について、2020 年度実施分から「知床岬の歴史は羅臼昆布にあり～知床岬 399 番地上陸ツアー～」とすることで実施者も合意。

3. 個別部会等からの報告

(1) 厳冬期の知床五湖エコツアー事業

- 2019 年度も昨年同様の内容で継続予定。ゲート管理により一般車両の進入は今後も防止可能。

(2) 知床五湖地区における取組

- 立入認定者数及びヒグマ遭遇回数（ヒグマ活動期）が過去最高を記録。
- 2020 年度より、自由利用期（10 月 21 日～閉演）を植生保護期に変更する。

(3) カムイワッカ地区における取組

- 昨年同様の内容で実施された。カムイワッカ地区においては、道道知床公園線カムイワッカ以奥について、通行可能な状態に向けて整備を検討している。

(4) ウトロ海域における取組

- 昨年同様の内容でイベント等を実施。利用と保護の観点から、観光船や住民と海鳥の軋轢を軽減できるよう、引き続き積極的に関わりたい。
- 「海のハンドブック」は改訂を検討。

その他

- 2018 年第 1 回会議より議論されているヒグマと観光の課題に係る検討について、次回会議より知床ヒグマ対策連絡会議での進捗報告をする。

4. その他

(1) 知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画について

- エコツーリズムに関する管理の努力や懸念事項をデータとして収集し、遺産地域の管理にフィードバックするため、会議参加者（行政・民間事業者等）への聞き取り調査を行う。今後協力をお願いする。

(2) 知床国立公園利用のあり方に関する懇談会について

- 過去 2 年間のあり方懇談会での協議結果を踏まえ、2019 年度は関係行政機関による検討を行い、2019 年度中に検討の状況を本会議に報告する。

(3) 知床国立公園 公園区域及び公園計画の変更について

- 9 月 27 日付けで官報告示された。①キキリベツ川及びショウジ川の下流一帯を拡張 ②ホロベツ・岩尾別線の歩道計画の追加 ③カムイワッカ園地事業計画の変更

(4) 野生動物観光促進事業について

- インバウンド対応の促進事業として今年度より創設された補助金。知床では 2 件交付決定。事業実施内容については可能な範囲で本会議に報告する。また事業実施者が外部の場合には、この検討会議への参加を促進する。

(5) 第 43 回世界遺産委員会決議について

- トドに関する IUCN の記載は誤解していると疑わしき部分がある。来遊数の算出や回答案の作成に向けて準備を進めていると報告した。

(6) 知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議設置要綱の一部改訂について

- 高橋委員がワーキンググループ委員に加わったことに伴う変更を承認した。

その他

- 資料の年標記については、科学委員会の方針と同様に原則として西暦で統一し、和暦（元号）は補足的に付記する。